

地震① 大地震発生時の行動を確認し、安否確認方法を記入

○富士岡地区の地震による危険

震度6弱から震度7の揺れが想定されています。

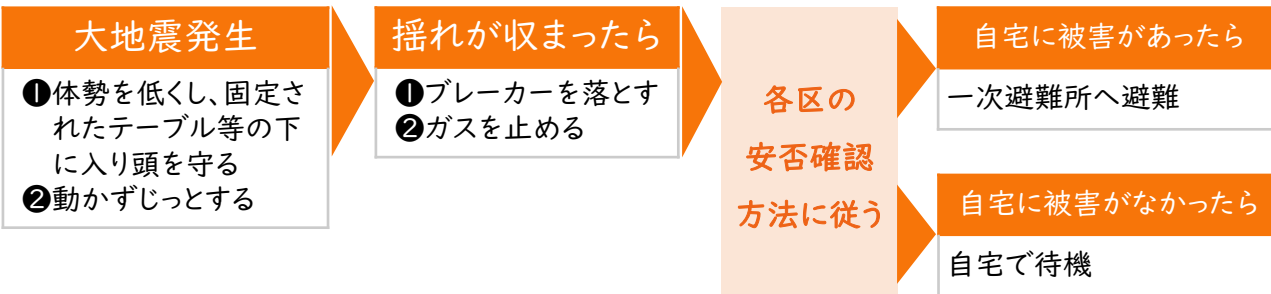
○震度と体感

震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半の人が恐怖を覚え、物につかまらなると感じる	物につかまらなると歩くことが難しい	立っていることが困難になる	這わないと動くことができない	耐震性の高い木造建物でも傾くことがある

○液状化が発生した場合

マンホールなどの埋設物が浮き上がったり、道路に段差が発生したりする可能性があります。避難する際には足下に注意しましょう。

○大地震発生時の行動



ア) 区の安否確認方法を確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう

★区の安否確認方法

組・班集合場所

に集まる

情報収集手段に関する紹介

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設が確認できます。



・御殿場市公式LINE



・御殿場市ほっとメール

避難情報やハザードマップが確認できます。



2次元コードが読み込めない場合は、名前で検索してみよう!

静岡県防災アプリ 検索

土砂災害の危険度、河川の様子を確認できます。



・気象庁キキクル(土砂災害)



・国交省川の防災情報(黄瀬川)

<目次>

はじめに 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認		P1
大雨 土砂災害 河川氾濫	大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入	P2
	大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入	P3
火山 溶岩流・融雪型 火山泥流	溶岩流① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入	P4
	溶岩流② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入	P5
	融雪型火山泥流① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入	P6
	融雪型火山泥流② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入	P7
地震	地震① 大地震発生時の行動を確認し、安否確認方法を記入	P8

はじめに 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認

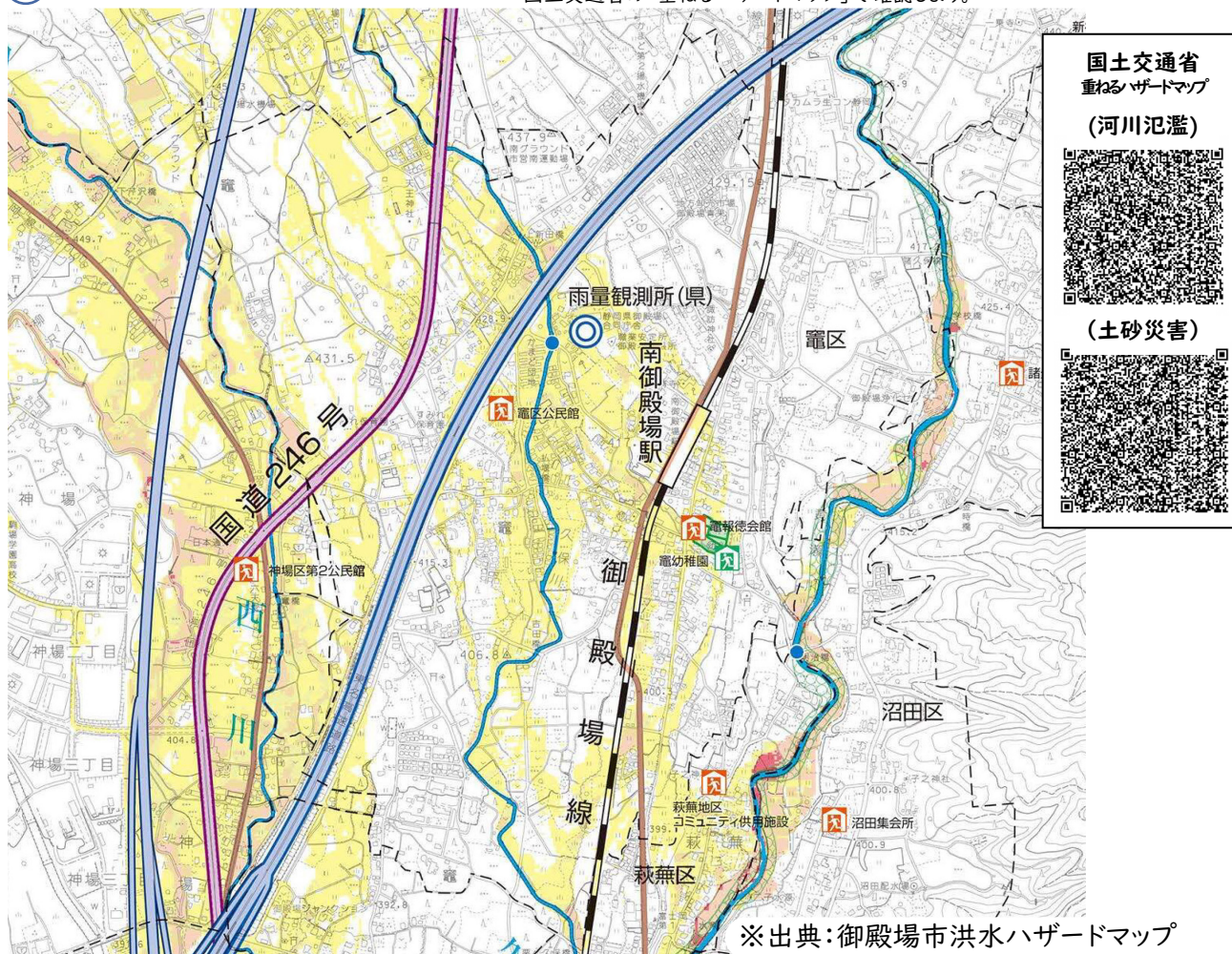
- ・ 家族で避難に時間がかかる人がいるかどうか確認しましょう。
- ・ 避難に支援が必要な方は、あらかじめ支援してもらおう方を決めておきましょう。

大雨 (河川氾濫・土砂災害)

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう

見えにくい場合は「御殿場市防災マップ」、もしくは国土交通省の「重ねるハザードマップ」で確認しよう。



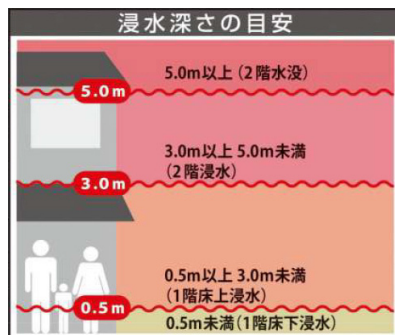
※出典:御殿場市洪水ハザードマップ

イ 下記の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう

河川氾濫による危険

○浸水想定区域(浸水深)
川が氾濫した場合に浸水するおそれがある区域

	浸水が10.0~20.0mの区域
	浸水が5.0~10.0mの区域
	浸水が3.0~5.0mの区域
	浸水が1.0~3.0mの区域
	浸水が0.5~1.0mの区域
	浸水が0.3~0.5mの区域
	浸水が0.3m未満の区域
	河岸侵食 (洪水の流れにより河岸が削り取られるおそれがある区域)
	内水浸水域
	水位周知河川*を含む区間



土砂災害による危険

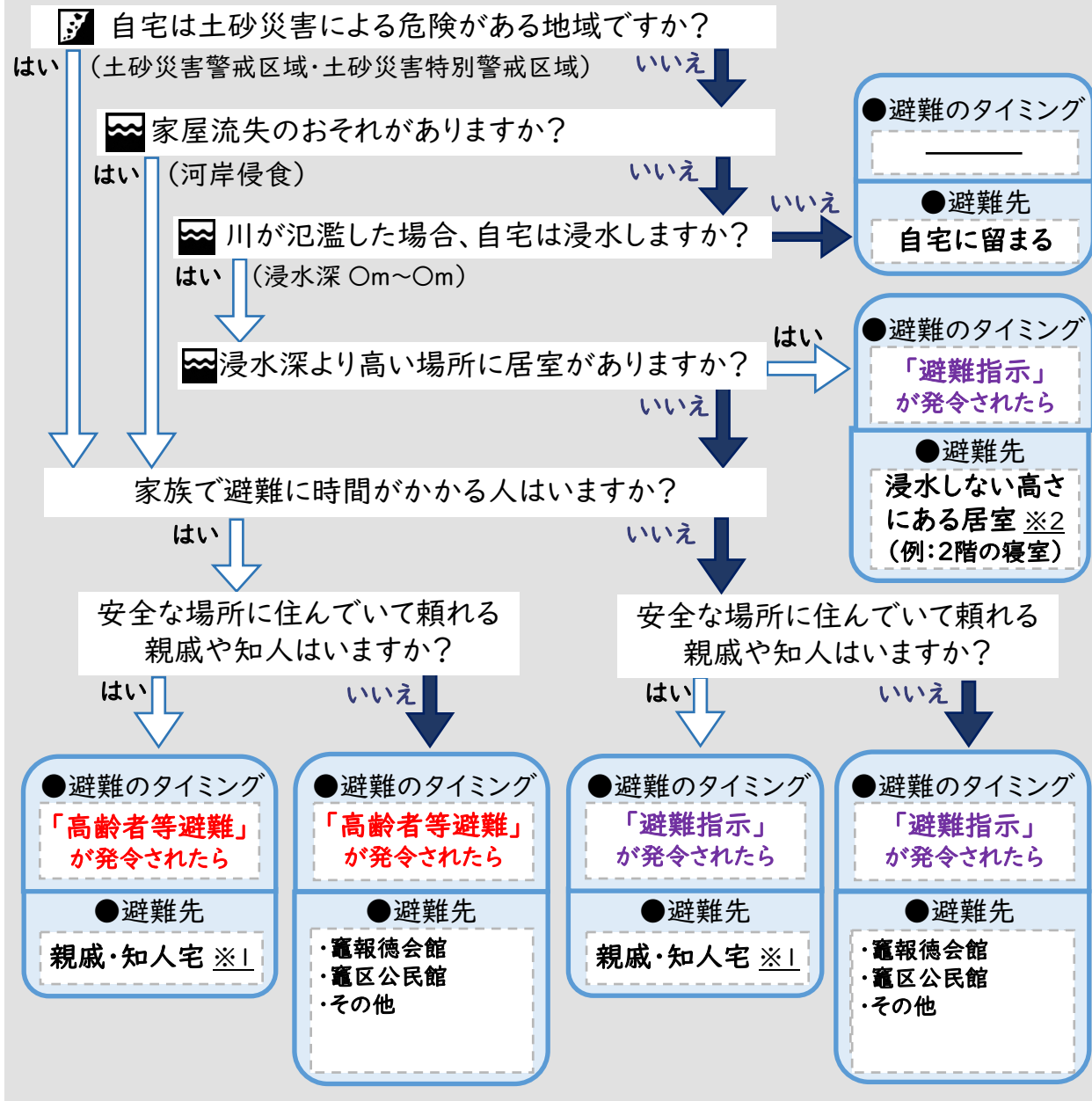
○土砂災害特別警戒区域
土砂災害が発生した場合、建物の破壊が生じ、住民等の生命や身体に著しい危害が生じるおそれのある地域

○土砂災害警戒区域
土砂災害のおそれのある地域

	土砂災害特別警戒区域
	土砂災害警戒区域

大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



※1 親戚・知人宅へは、可能であれば事前に避難するようにしましょう。
※2 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ」などを準備しておこう。

イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設状況

- ・御殿場市公式LINE
- ・御殿場市ほっとメール

避難情報や気象警報等

- ・静岡県防災アプリ
- ・その他アプリ

避難情報やニュース

- ・テレビ
- ・ラジオ



※市の公式LINEやほっとメール、県防災アプリについて、8ページに2次元コードを掲載しています。

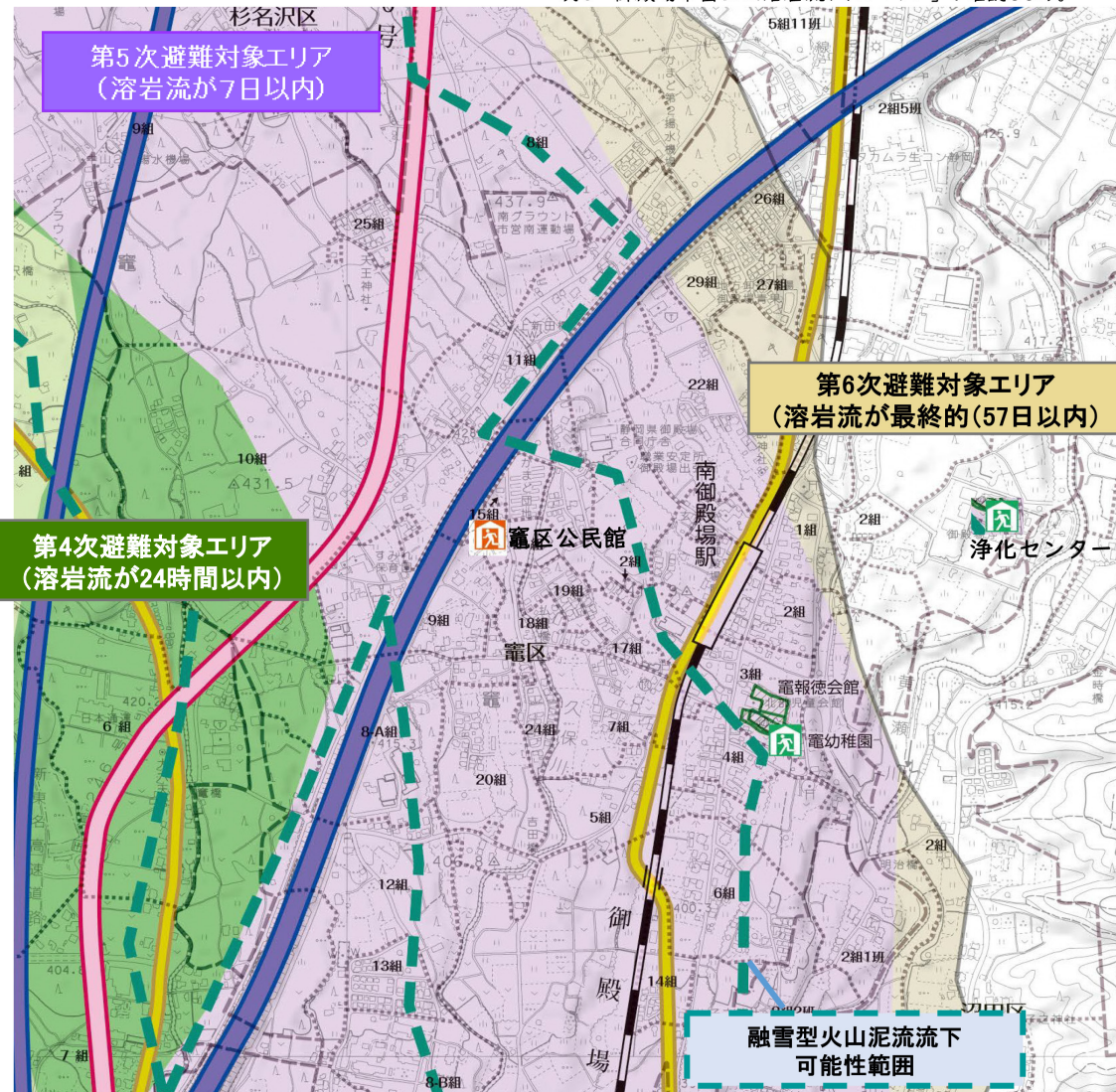


火山 溶岩流

溶岩流① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう

見えにくい場合は「御殿場市富士山溶岩流可能性マップ」及び「御殿場市富士山溶岩流ドリルマップ」で確認しよう。



- 溶岩流が2時間で到達する可能性がある範囲
- 溶岩流が3時間で到達する可能性がある範囲
- 溶岩流が6時間で到達する可能性がある範囲
- 溶岩流が12時間で到達する可能性がある範囲
- 溶岩流が24時間で到達する可能性がある範囲
- 溶岩流が7日で到達する可能性がある範囲
- 溶岩流が最終的に到達する可能性がある範囲

- 避難対象エリア**
- 第1次避難対象エリア (想定火口範囲)
 - 第2次避難対象エリア (火砕流、大きな噴石)
 - 第3次避難対象エリア (溶岩流が3時間以内)
 - 第4次避難対象エリア (溶岩流が24時間以内)
 - 第5次避難対象エリア (溶岩流が7日以内)
 - 第6次避難対象エリア (溶岩流が最終的57日以内)

- 凡例**
- 区(班) 界
 - 組 界
 - 市指定広域避難地
 - 市指定広域避難所
 - 救護病院
 - 雨量観測所
 - 市役所・支所
 - 交番・駐在所
 - 消防署・分署

※注意:データ容量が大きいので、スマートフォンやタブレットを使ってダウンロードされる場合は、wi-fi環境でのご利用を推奨します。

御殿場市 富士山溶岩流可能性マップ

御殿場市 富士山溶岩流ドリルマップ (大規模L)

(中規模M No1)

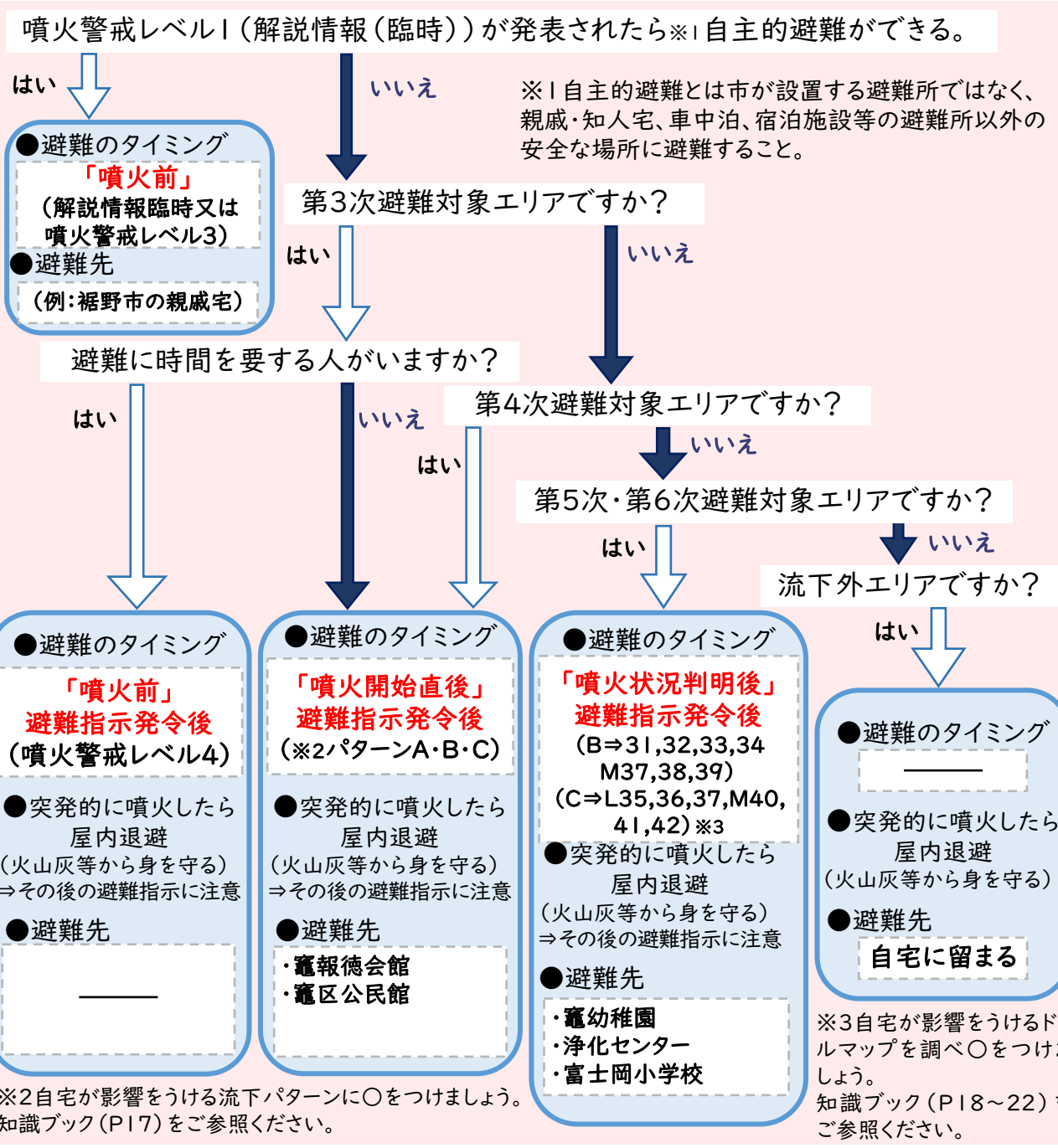
(中規模M No2)

(小規模)

知識ブック

溶岩流② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しよう



イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しよう

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設状況

- 御殿場市公式LINE
- 御殿場市ほっとメール

避難情報や噴火警報等

- 静岡県防災アプリ
- その他アプリ

避難情報やニュース

- テレビ
- ラジオ
- ボタンで避難情報表示

※市の公式LINEやほっとメール、県防災アプリについて、8ページに2次元コードを掲載しています。

上記の溶岩流の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しよう

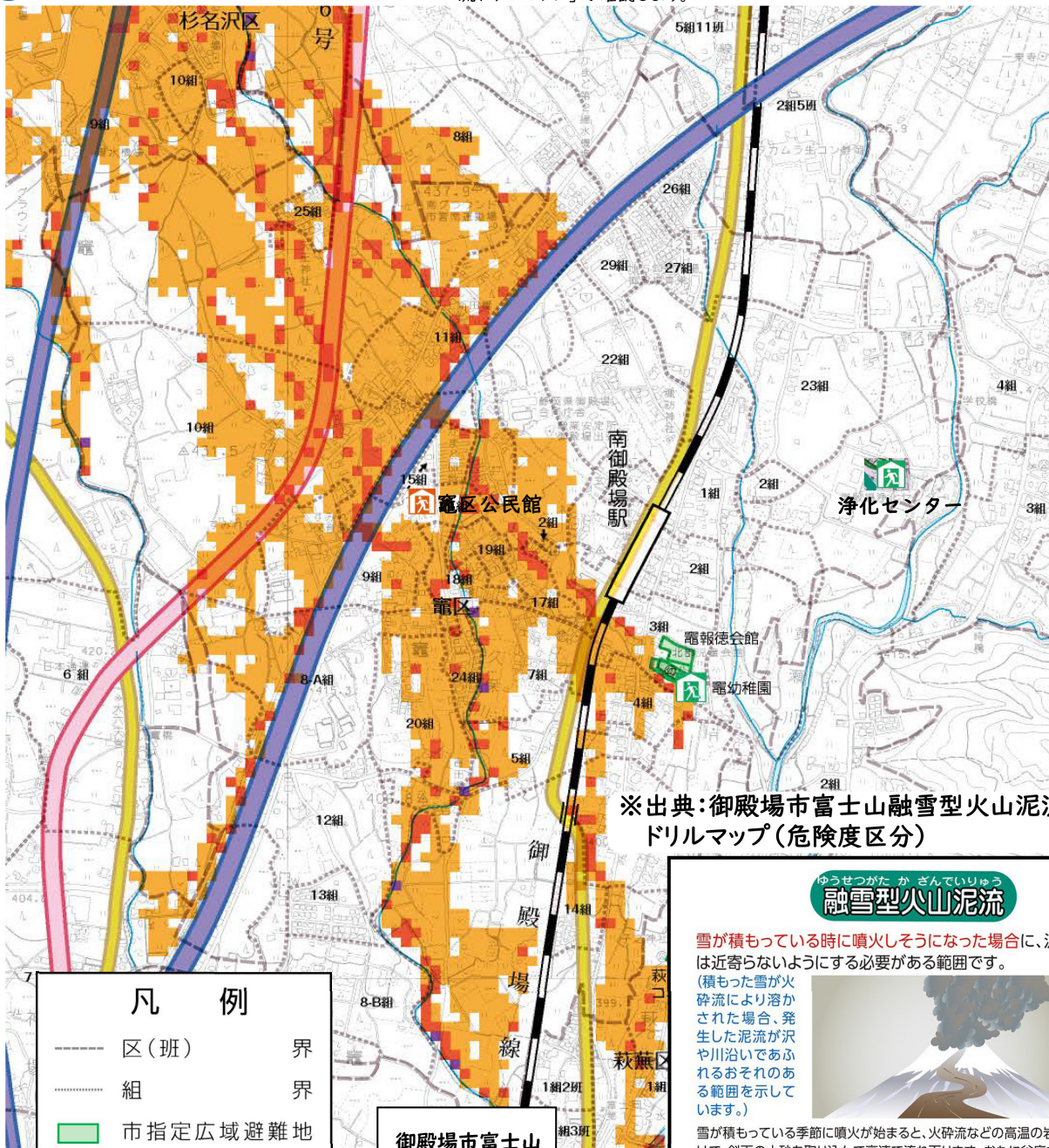


火山 融雪型火山泥流

融雪型火山泥流① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう

見えにくい場合は「御殿場市富士山融雪型火山泥流ドリルマップ」で確認しよう。



※出典：御殿場市富士山融雪型火山泥流ドリルマップ(危険度区分)

融雪型火山泥流

雪が積もっている時に噴火しそうな場合に、沢や川には近寄らないようにする必要がある範囲です。
(積もった雪が火砕流により溶かされた場合、発生した泥流が沢や川沿いであふれるおそれのある範囲を示しています。)

雪が積もっている季節に噴火が始まると、火砕流などの高温の岩で雪が解けて、斜面の土砂を取り込んで高速で流れ下ります。おもに谷底など低いところを流れますが、あふれて広がることもあります。山頂付近から一気に流れ下るので早めの避難が必要です。

危険度区分

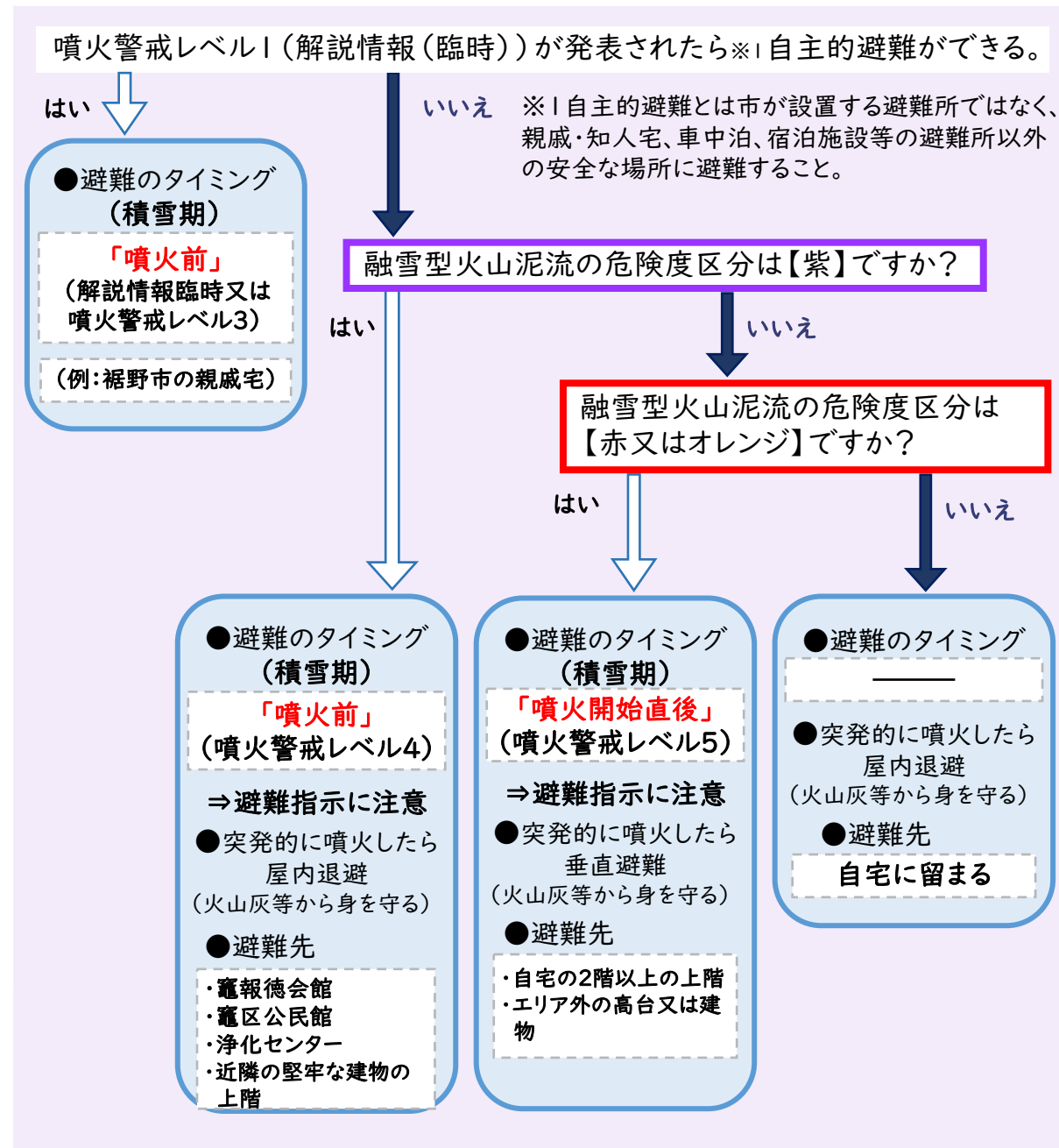
- 十分な注意を払った上で、徒歩による避難が可能な条件の区域
- 事前の避難または建物内での垂直避難が必要な区域
- 事前の避難が必要な区域

- 凡例**
- 区(班) 界
 - 組 界
 - 市指定広域避難地
 - 市指定広域避難所
 - 救護病院
 - 雨量観測所
 - 市役所・支所
 - 交番・駐在所
 - 消防署・分署

御殿場市富士山融雪型火山泥流ドリルマップ(危険度区分)

融雪型火山泥流② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設状況

- ・御殿場市公式LINE
- ・御殿場市ほっとメール

避難情報や噴火警報等

- ・静岡県防災アプリ
- ・その他アプリ

避難情報やニュース

- ・テレビ
- ・ラジオ
- ボタンで避難情報表示

※市の公式LINEやほっとメール、県防災アプリについて、8ページに2次元コードを掲載しています。

① 上記、融雪型火山泥流の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう